

車いす環境学習事業活動報告書

主催	NPO法人 琵琶湖トラスト		
共催	公益法人 平和堂財団		
後援	社会福祉法人 滋賀県障害児協会 湖南ホームタウン		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・外出機会の少ない車いす利用者の方を対象に、環境学習船megumiに乗って琵琶湖の環境を学習する機会を提供し、琵琶湖に対する関心を深めてもらう。 ・参加者が琵琶湖の大自然にふれて、英気を補う機会にする。 		
実施日	平成26年4月23日（火）		
実施内容		内 容	実施場所
	25年	第1回打ち合わせ	湖南ホームタウン
	12月19日	・事業の説明と協力について話し合う。	
	26年	第2回打ち合わせ	琵琶湖汽船
	1月8日	・事業概略の確認と環境船の下見をする。	
	3月13日	第3回打ち合わせ	湖南ホームタウン
		・日程、内容等について協議する。	
	4月14日	第4回打ち合わせ	琵琶湖汽船
		・日程、参加者、荒天時等対応について最終確認をする。	
	4月21日	参加者58名、関係者12名により実施。	
	9:00	スタッフが集合し、船内レイアウトを確認後、受付準備をする。	
	9:40	参加者が集まり始めたので予定を早めて受付を開始し、10時10分過ぎ順次乗船する。	
	10:20	出航	
		オリエンテーション（熊谷） megumi 号の話（若代）びわ湖トラストの話（氏家）びわ湖の話（熊谷）が進められ、どの話も参加者は熱心に聞き、沖島、多景島の説明を聞きながら長浜港に到着する。	
	12:00	長浜港に寄港し、昼食タイム。大半は船上で食事し、その後希望者は上陸し、短時間だが長浜を散策する。	
	13:30	長浜港を出港し、湖流の説明を聞きながら、竹生島、沖の白石を間近で観察できたことに参加者は大変喜んでいて。プランクトンのビデオも熱心に見ていた。説明中に参加者が椅子から落ち緊張感が漂ったが、用意していた簡易ベッドに運び落ち着く。	
	16:00	下船後、救急車で病院に搬送する。救急車が出た後、全員下船し解散する。	
効果等	参加者から、琵琶湖を船に乗って学習する機会の提供に感謝の声と、来年も実施してほしいと要望があった。天候の関係で、殆ど室内で過ごし大自然を感じる機会は持てなかったが、アットホーム的な時間を持つことができた。環境学習についての満足度は意識の差があったものの、五感で琵琶湖を感じる体験は好評であった。この事業を通して、今回の参加者は琵琶湖が身近になったことを感じた。なお、けが人は病院で治療を受け、特に異常はなく当日帰宅した。		



乗船前参加者記念撮影（乗船する環境啓発船メグミの前で）



熱心に聴講される参加者の皆様